



社会福祉法人のぞみの会

大塚保育園

園長 高尾 順子

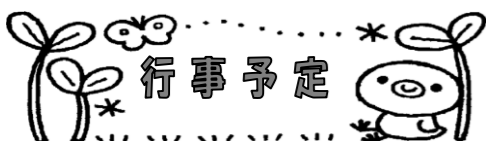
平成31年3月1日発行 No.438

桃の花が膨らみ始め、3月に年長さんが卒園、桜の咲く頃の4月には新しいお友達をお迎えします。今年度は創設者・前理事長石坂 孝喜が逝去されるという大塚保育園にとって大きな出来事がありました。43年間社会福祉法人として、お子さんの保育教育・保育に尽力を尽くし、私たち職員がそれを継承するという大きなバトンを渡されました。保護者の皆様、どうぞお力添えを下さいますようお願い致します。

先日入園説明会がありました。その時のお話を少しさせていただきます。先日テレビ番組で絵が上手になる技法についての放送がありました。子どもに技法を伝えなくても子どもは上手にかけます。魚の絵を5歳児書いてもらいました。その後つりに出かけ魚の事を体験や五感を通して活動する事で、うろこを描いたり、尾びれを揺れるように線で描いたり、口や目も本物により近く描いたそうです。お子さんはこのように五感を通して感じ、脳裏や、心に刻んでいきます。体験に勝るものはないという事でしょうか？ 又、6~7歳の半数の男児が行動に落ち着きがないとの新聞の記事の掲載がありました。4280人に対して、前頭葉機能検査を行った結果、不活発なタイプは物事に集中するのに必要な興奮の強さと、気持ちを抑えるのに必要な抑制の強さの両方が十分育っていないことがわかりました。興奮の強さが育つと、それに伴って抑制の強さが育ちます。夢中になって遊びこむ体験や家族でゆったり過ごす体験が大切ですよという記事を目にしました。やはり、夢中になって遊ぶ事の中でお子さんは試行錯誤していきいます。試行錯誤は考える力やコミュニケーション力も必要になってきます。では今、0歳~2歳の時期は何が大切かと言うと、深く愛され・支えられた育みが大切子どもの不安に丁寧に応えたり、集中する事きちんと保障することをお子さんにしっかりと繰り返すことが大切です。他者への愛情、信頼は自分が無条件で愛されている体験が必要。それが我慢したり、深い自信になります。いろいろな事に挑戦できたり、自己肯定感・自尊感情を育てることになります。お子さんが持っている力を十分に発揮できるように発達に応じた環境を準備していきます。お子さんが自分でする事は自分で決めます。子どもが育つ一番の方法は大人が知っているわけではなく、子どもの中にあります。私たち大人は子どもに教えてもらい、環境を準備していきます。

「一人でできるようなるのを手伝って下さい」お子さんが自分の力で出来るようにお手伝いすることを心に留めておきましょう。ご縁が合っの繋がり太く紡いでいけたらと思います。さて皆さんはどんなお子さんに育てて欲しいと思っていらいっしょいますか？

園長



- 1日(金) お別れ遠足
- 5日(火) 体操指導参観〔4才5才児〕  
クッキー作り〔5才児〕
- 6日(水) クッキー作り〔5才児〕
- 7日(木) お別れ遠足予備日
- 8日(金) 誕生会・お別れ会
- 12日(火) 避難訓練
- 14日(木) 卒園式リハーサル  
乳児健診  
新入園児健康診断
- 15日(金) 卒園式リハーサル
- 16日(土) 卒園式



### 《お別れ遠足》

高尾山に登ってきます。行きは1号路で登り、帰りは寄り道をしながらケーブルカーを使用します。日頃から、遠くまで散歩に出かけて足腰を鍛え体力づくりに励みました。



### 《卒園式》

今年は「やってみよう。」と新しい事にチャレンジした黄色帽子さん。一人づつ“大きくなったら何になりたいか”を発表して入場いたします。何事にも挑戦し続けることを忘れずに小学校へ行って頑張ってください。



### 《新年度の書類提出について》

勤務調査表等をお配りいたします。詳しくは配布されるお知らせをご覧ください。提出期限は **3月8日(金)** です。

### 《平成31(2019)年度の園のしおりについて

変更点・追加点があります。配布後よくご覧になりご確認ください。

### 《4月の父母会総会について》

4月の父母会総会の時間をお貸りして来年度の園の方針(園のしおり・年間行事等)の説明させていただきます。又、先日、保護者の方から紙パンツ処理代についてのご意見を頂きましたので、そのことについてもお話させて頂きたいと思ひます。



### 父母会主催の観劇会「いまからいであいってきます」 ~感動をありがとうございました。~

“手に汗握る”お子さんは物語の中にグッと引き込まれ登場人物の一人になっていました。ありがとうございました♪



### ~新入園児の予定~

#### 4月3日(水)入園式

平日に入園式が執り行われます。在園児の保育は通常通り行います。

先月号に続き・・・

### 《子どもが自ら学べる環境づくりを》

#### ◎『子どもの「いたすら」は、環境が原因』

子どもがいて「いたすらばかりする」と困っている方は多いでしょう。でも、原因は実は子どもでなく環境にあるのかもしれない。敏感期にある子どもは、そのときの自分にとって必要なことをやろうとします。たとえば、ティッシュペーパーを引っ張り出す子どもは、その行動によって、手指でつまんで引っ張り出す動きを繰り返し練習しています。十分に繰り返し満足すれば、次の新しい行動に移っていきます。「いたすら」と思えることをいつまでも続けることはありません。「いたすら」にいそむ子どもを観察していると、誰に言われなくても、今の自分にとってどんな学びが必要か、子ども自身が知っていることがわかります。子どもの中には、自らが育つためのプログラムが備わっているのです。子どもは成長のために「今これをしなさい」という宿題をもらっています。

「いたすら」をする子どもは、その宿題を一生懸命やっているんです。「散らかるからやめて」とティッシュペーパーを取り上げて、「子どもはおもちゃで遊びなさい」とおもちゃを与えても、そのおもちゃが今やりたいことと合致しなければ、子どもは宿題をこなすことができません。子どもをよく観察し「今は、引っ張り出すお仕事をしなきゃいけない時期なのね」と見極めて、好きなだけ引っ張り出していいようなものを子どものそばに用意する。そうやって、子どもがやりたいことをできる環境を作っていくことが大人の大切な役割なのです。

#### ◎『子どもの育つ家を、子ども向けの環境に』

子どものやることなすことが大人を困らせているのはなぜかといえば、家庭が大人にとって生活しやすい、大人が優先の環境になっているからです。周囲に大人向けの道具しかなければ、子どもはそれを選ぶしかありません。そんな、やむにやまれぬ活動が「いたすら」に表れるのです。子どもは大人の世界に生まれてくるので、私たちの家庭も地域も、大人向けの環境になっています。でも、子どもには、子どものサイズに合った、子どもが自由に活動できる環境が必要なのです。大人中心の環境で「ダメ」と言われ続けて育つか、自ら活動を選び、内なる課題を満足いくまで達成できる環境で育つかは、子どもにとって大きな違いです。自主的に学ぶ力を身につけてもらうためには、ぜひとも後者のような環境を用意してあげたいものです。子どもが思わすふれたくなるような道具、自然物、図鑑…そうしたものがあれば、子どもは自ら学ぶ楽しさを知ってっていくでしょう。

「学ぶことって楽しい」という実感は、思春期やそれ以降の人生でも学び続けていくための、大事な原動力になります。

参考文献 『自分で考え生きる力が育つ12歳までのモンテッソーリ子育て』 野村 緑著



### 4・5歳児リトミック参観・・・



お忙しい中、参観に来てくださりありがとうございました。保護者の方々の感想です。

- ・一人ひとりの子どもが自分の役割を考え行動する様子が良かったです。
- ・自主的に行動する事、お友達と協力すること、規則を守ることをすべてリトミックで学ばせていただいた大切なスキルだと思います。



シールの台紙はがせるかな

トントントン道具(ハンマー)を使いこなせるようになりました

### 《乳児クラスの様子 ~ゆめぐみ編~》



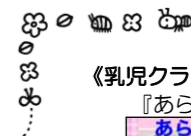
ストローどこかな...



楊枝落とし...真剣です!



ポストにいれます!



### 《乳児クラスおすすめ絵本》



### 《幼児クラスおすすめ絵本》



### 《年長活動でクレープを作りました☆》

氷水に冷やしながらホイップを作りおたま1杯分すくいホットプレートで焼きました。両手でフライ返しを使ってさぁ出来上がり!

ホイップとフルーツをトッピングしていただきます!!  
とっても美味しくできました♪  
早速家でも作ったお子さんもいたそうです。



### 《幼児クラスからのお願い》

先月号でもお知らせしましたが、送迎時、階段の鍵は安全の為必ず閉めるようお願いいたします。